

漁協が行っている漁業以外の仕事（水産多面的活動）

内水面漁協は、魚を捕ったり遊漁承認証（釣り券）を売ったりするほかに、川や湖で地域に役立つ仕事をしています。

内水面漁協の組合員は、魚の生態や魚が棲んでいる水の中の状況をよく知っており、水辺の環境を守って魚を増やし、多くの人が川や湖で自然に親しみ釣りを楽しめるように漁場を管理しています。

その結果、釣り人が増えて地域が元気になること、水辺の環境が守られること、釣りや魚を食べる文化を伝えて行くことなど漁協が地域で活躍していること、これが水産多面的活動です。

平成25年度から、内水面の漁協が中心となって地域の市町村や団体と連携して、流域の人々に漁協の活動を伝え、一緒に作業を行って次のような取り組みをしています。

●魚の棲みかや産卵場などを管理すること

魚が産卵したり稚魚が育ったり隠れたりする場所を管理し、魚などが堰を越えたり下ったりすることを助け、埋まってしまった川の石を掘り起こして川の浄化能力を高め魚が棲めるようにしています。



アユ産卵場を整備する様子（山口県 樹野川漁協提供）

●ブラックバスやカワウなどから魚を守ること

外来魚や害鳥が魚を食べてしまうことを防いでいます。



駆除したカワウの胃に入っていた大量のアユ（山梨県 桂川漁協提供）

●川や湖の水質や環境を守ること

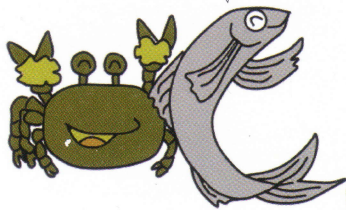
棲んでいる魚の状況から水辺環境の変化を調べて、水質が悪化していないかなどの監視をしています。また、ゴミ拾いなど水辺の美化活動をしています。



河原を埋め尽くすヨシを刈り取る様子（愛媛県 鮎川漁協提供）



川がきれい、敵からかくれる場所もたくさんあって、棲みやすいなあ。



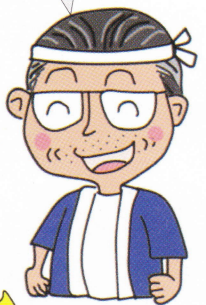
いい釣り場で気分もリフレッシュ！また来たいな。

川あそびのしいよー!!

わあ お魚っておいしい♪

ちいき 地域がにぎやかになってきたぞ!!

魚の捕り方や食べ方などをみんなに伝えていなくては。



●釣りを通してのレクリエーションや憩いの場、教育の場、仕事の場を設けて、地域を活性化させること

近くの川に魚を増やし、釣りができる水辺の環境を守って、地域作りに貢献しています。



初心者アユの友釣り教室の様子（滋賀県河川漁連提供）

●国民の生命財産を守ること

水難事故の防止や安全な遊び方を伝え、救助活動の支援を行っています。

●普及啓発を通して、伝統文化や技を後世に伝えること

子ども達と川を探索して生き物を調べるなど、人々に川に対して関心を持ってもらえるよう活動をしています。



水生生物調査の体験（岩手県 豊沢川漁協提供）